中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 高速マイクロ流体制御が拓く超高分解能時空間バイオプシーの学理
2. 研究代表者： 佐久間 臣耶（九州大学 工学研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、力学的・生物学的連成の相互作用の理解を目指し、高速マイクロ流体制御技術確立し、高い時空間分解能で細胞凝集体のマルチモーダル解析を可能とする超高分解能時空間バイオプシーの学理を創出する研究である。

フェーズ1では、研究計画が順調に進められ、細胞操作の各種基盤技術を開発して高速マイクロ流体操作技術を創出したことは、高く評価できる。細胞の新たな計測技術や分取技術に繋がるもので新しい技術として応用や波及効果も期待できる。細胞の力学特性の計測は未開拓分野であったが確実に結果が得られている。

フェーズ2では、フェーズ1で得た技術の改良のみならず、新規に測定技術を導入し、システム構築を目指すことで、学理を構築することに期待する。

以上